

別紙作成例

平成 年 月 日

文部科学大臣 殿

研究機関名

研究機関代表者名

印

平成15年度科学研究費補助金に係る繰越承認要求について（申請）

平成15年度において科学研究費補助金の交付の決定を受けた研究課題のうち、下記の研究課題は、交付決定時には予想し得なかった外部要因により、一部の計画について経費を繰越さなければ補助事業を完了することが不可能（厳に年度内の執行が不可能であり、経費の繰越以外には対処の方法がない）となりましたが、翌年度内に完了する見込みであるので、事前相談の結果を踏まえ、別紙の繰越承認要求一覧等を添えて繰越承認を申請します。当該経費の繰越しは、補助事業の目的の変更を伴うものではありません。

なお、この申請に係る経費については、速やかに返納の手続きを進めます。

記

課題番号：

研究代表者名（所属部局名・職名）：

研究課題名：

補助事業完了時期：

繰越承認要求額：

円

文部科学大臣 殿

研究機関	所在地	
	名称	
	代表者の職名・氏名	(職印)

科学研究費補助金(○○○○研究)研究(1)に係る繰越承認要求一覧

平成15年度 科学研究費補助事業

課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた補助金			左の額の支出見込額内訳		備考欄
	所属部局・職名	氏名		計	直接経費	間接経費	繰越承認要求額	本年度支出見込額	
12345677	○○学部・教授	○○ ○○	○○○に関する研究	円 2,000,000	円 2,000,000	円 0	円 1,000,000	円 1,000,000	①研究方式の決定の困難 ア
12345688	○○学部・教授	△△ ○○	△△に関する研究	1,000,000	1,000,000	0	200,000	800,000	①研究方式の決定の困難 ア ③気象の条件 ア
12345699	○○学部・教授	◇◇ ○○	◇◇◇◇に関する研究	1,000,000	1,000,000	0	200,000	800,000	④資材の入手 イ
			合計	4,000,000	4,000,000	0	1,400,000	2,600,000	

文部科学大臣 殿

研究機関	所在地	
	名称	
	代表者の職名・氏名	(職印)

科学研究費補助金(○○○○研究)研究(2)に係る繰越承認要求一覧

平成15年度 科学研究費補助事業

補助金額①	繰越承認要求額②	本年度支出見込額①-②
3,000,000円	600,000円	2,400,000円

《内訳》

課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた補助金			左の額の支出見込額内訳		備考欄
	所属部局・職名	氏名		計	直接経費	間接経費	繰越承認要求額	本年度支出見込額	
12345611	○○学部・教授	○○ ○○	○○○に関する研究	1,000,000	1,000,000	0	200,000	800,000	①研究方式の決定の困難 ア
12345622	○○学部・教授	△△ △△	△△に関する研究	1,000,000	1,000,000	0	200,000	800,000	③気象の条件 ア
12345633	○○学部・教授	◇◇ ◇◇	◇◇◇◇に関する研究	1,000,000	1,000,000	0	200,000	800,000	④資材の入手 イ
合計				3,000,000	3,000,000	0	600,000	2,400,000	

繰越承認要求額の算定根拠

課題番号 1 2 3 4 5 6 7 7

繰越承認 要求額	直接経費及び間接経 費の合計	間接経費	直接経費	費目別内訳					
				設備備品費	消耗品費	国内旅費	外国旅費	謝金	その他
	1,000,000 円	0 円	1,000,000 円	500,000 円	340,000 円	0 円	0 円	152,000 円	8,000 円
算定根拠	<p>平成 15 年度に実施できなかった実験及びデータ分析、まとめに係る経費は、研究方式の再検討の結果、◇◇についての実験に係る経費として、設備（品名：○○○○）及び付帯する設備備品に要する経費（計 500,000 円）、実験用の材料費（340,000 円）が必要である。</p> <p>また、データ分析・まとめに係る経費として、データの整理を行うための謝金（7,600 円×2 人×10 日）及び成果報告書の印刷費（8,000 円）が必要である。</p>								

繰越しを必要とする理由書

研究課題	事業概要	(当初計画) 変更後の計画	事由
<p>課題番号 1 2 3 4 5 6 7 7 研究課題名 〇〇〇〇に関する研究</p>	<p>〇〇に関する材料について.....の実験や△△を通じた研究を行う。</p>	<p><当初計画> ○実験準備 平成15年4月～6月 ○予備実験 平成15年7月～10月 ○実験 平成15年11月 ○データ分析・まとめ 平成15年12月～3月 <変更後の計画> ○実験準備 平成15年4月～6月 ○予備実験 平成15年12月～平成16年3月 ○実験 平成16年4月 ○データ分析・まとめ 平成16年5月～8月</p>	<p>① 研究方式の決定の困難 ア 研究方式の決定に予想外の日数を要したため ○具体的な内容 ◇◇に関する材料の研究開発において競争関係にある〇〇研究所の開発した材料が、当初予見していた△△の条件下であっても、全く別の内的要因により十分な強度を保つことができず事故に至ることが報告され、〇〇研究所が開発した材料と同程度以上の世界最高水準の厳しい条件下で現在研究している材料についても、〇〇条件の克服だけでは、十分に信頼性の高い材料開発が困難であることが明らかとなり、研究方式を再検討する必要が生じ、この検討に不測の日数を要したため(約5ヶ月)、年度内完了が困難となった。 ○経費を繰越さなければ補助事業を完了することが不可能な理由 この研究計画の一部となる◇◇についての実験が平成15年度中に実施できなくなったため、その実験のデータ分析もできず、研究をまとめることが不可能となった。補助事業を完了するためには、◇◇についての実験とデータ分析・まとめに係る経費を繰越し、実験を実施し、データを分析しまとめる必要がある。 ○補助事業の完了時期 平成16年8月31日</p>

課題番号 12345677

研究課題名 ○○○に関する研究

		平成15年度											平成16年度																		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
当初		← 実験準備 →			← 予備実験 →					← 実験 →	← データ分析・まとめ →																				
変更後		← 実験準備 →			← 再検討期間 →					← 予備実験 →					← 実験 →	← データ分析・まとめ →															